

平成28年11月4日

各位

会社名 中央化学株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 社長執行役員 水野 和也  
 (コード番号 7895)  
 問合せ先 管理本部 経営企画部長 遠藤 勇一  
 役職 氏名  
 電話 048-540-2820

### 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成28年5月10日に公表しました業績予想を下記の通り修正しましたので、お知らせいたします。

#### 記

##### 1. 業績予想の修正について

(1) 平成29年3月期第2四半期累計期間連結業績予想数値の修正 (平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回予想 (A)	31,000	500	400	300	円 銭 14.89
今回修正 (B)	29,249	152	△354	△425	△21.12
増減額 (B-A)	△1,751	△348	△754	△725	△36.01
増減率	△5.6%	△69.6%	—	—	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成28年3月期第2四半期)	30,621	668	444	363	18.03

(2) 平成29年3月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正 (平成28年4月1日～平成28年9月30日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり当期純利益
前回予想 (A)	27,000	400	300	円 銭 14.89
今回修正 (B)	26,302	△106	△164	△ 8.23
増減額 (B-A)	△698	△506	△464	△23.12
増減率	△2.6%	—	—	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成28年3月期第2四半期)	26,712	409	351	17.45

## 2. 修正の理由

### 連結業績、個別業績

当第2四半期連結累計期間の連結売上高は、単体個別の売上高がほぼ計画通りに推移したものの、中国人民元安による在外連結子会社の売上高円換算額の縮小影響約10億円などにより、当初計画を1,751百万円下回る見込みです。

収益面に関し、営業利益については、在外連結子会社がほぼ計画通りであったものの、単体個別におけるリサイクルPETを原料とする環境配慮型製品C-APG（製品名）やその他の高付加価値製品に係る開発、生産、販売促進等の費用が第2四半期累計期間から発生したのに対して、その収益効果は第3四半期以降に本格的に現れるため、第2四半期累計期間の連結営業利益は当初計画を348百万円下回る見通しです。

これに加え、当第2四半期連結累計期間においては為替相場の変動により、連結で402百万円、単体個別で113百万円の為替差損が営業外費用に計上されることなどから、第2四半期累計期間の連結経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益は、当初の計画に対し、それぞれ754百万円、725百万円（単体個別の経常利益、四半期純利益は当初計画に対し、それぞれ506百万円、464百万円）下回る見通しです。

なお、為替差損の発生につきましては、平成28年8月10日公表の「営業外費用（為替差損）の計上に関するお知らせ」を、ご参照下さい。

## 3. 通期の業績予想について

環境配慮型製品やその他の高付加価値製品の拡販をはじめ、製造原価及び物流費削減などの施策効果は、当上半期よりも下半期により多くの効果が現れるものと見込まれますので、現時点において通期の業績予想の修正は行っておりません。

(注) 上記の予想は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後の様々な要因によって上記の予想とは異なる結果となる可能性があります。

以 上